

皆様、こんにちは。

9月も半ば過ぎとなり、少し過ごしやすい気候になってきましたね。

その一方で、台風が日本列島を縦断し、各地に甚大な被害をもたらしました。

この場をお借りし、お見舞い申し上げます。

さて、生徒の皆さんは、2学期に入ってから、今月末に行われます体育祭に向けて、毎日、演技など頑張っていると思います。

また、夏季休業中に行われておりました校内の3か所のトイレ工事も無事に完了し、新たな環境で学校生活がスタートしています。

新しいトイレのおかげで、校内も明るくなったように感じます。

P T Aでは、環境も新たに、2学期も盛沢山の行事、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。



さて、今年度は、8月26日、27日に東京プリンスホテルにて行われました『全国特別支援学校知的障害教育校P T A連合会 平成29年度 第36回 全国研究協議大会 東京大会』に、P T A担当教員と共に、役員が出席させて頂きました。

今年は、本連合会が創設50周年という節目の年として、今大会は、周年行事とした形でも執り行われ、来賓の方々も沢山ご来場頂き、また、全国の支援学校関係の参加者も1000名を超える盛大な大会となりました。

開会式後には、例年の通り、行政報告として、文部科学省の方より『特別支援教育の動向、施策等について』、また、厚生労働省の方より『障害児支援施策について』、それぞれ詳細なお話を伺いました。

その後は、『未来へつなげる子供たちの安全・安心』というテーマのシンポジウムが行われました。本連合会より調査研究助成事業の対象校とされた3校の学校について、それぞれ研究内容をお話頂きました。



近畿ブロックからは、『防災』という観点から、和歌山県にある「みくまの支援学校」、東海北陸ブロックからは、「愛知県立半田特別支援学校」、また、開催地東京ブロックからは、「東京都立八王子特別支援学校」が、それぞれ立ち上げられた防災を基にされた設立部の経緯や活動内容、これからの課題などもお話頂きました。

どの学校も、子どもたちを中心に、学校・家庭そして、地域と繋がりながら活動をされておられました。

また、その後には、跡見学園女子大学教授の鍵屋先生から『『大災害対応』防災を進めよう！』と題して、東日本大震災で起こった状況を振り返りながら、「あと少しの支援があれば・・・」といった当時の事例のお話や防災の正四面体となる自助・近助・公助・共助のそれぞれの役割について、ポイントとなる部分や課題なども含めて詳しくお話頂き、この度のシンポジウムは閉会致しました。

翌日の27日には、記念講演『スペシャルオリンピックスの魅力』と題し、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本名誉会長の細川佳代子氏をお迎えし、細川氏が長年活動されてこられたスペシャルオリンピックス日本の歩みをお話頂きました。



彼女が、スペシャルオリンピックスと出会われたきっかけとなったお話やスペシャルオリンピックスの世界大会を観覧されて、感動されエピソードをお聞きました。参加する選手みんなが主人公であり、また、国を超えて感動を与えるなどの大きな取り組みなのだと改めて知りました。

この度の講演により、スペシャルオリンピックスの活動、そして、細川氏も魅かれたというスペシャルオリンピックスの魅力が本当によくわかりました。

細川佳代子さま、ありがとうございました。

遠方での2日間の研修大会、多くの方と出会い、また、色々なことを学ぶことが出来ました。

このような機会が持てましたことに、感謝申し上げます。

来年度は、京都の地にて、『全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会 平成30年度第37回全国研究協議大会 京都大会』が開催されます。

近畿ブロックでの開催ですので、大阪からも沢山の方にご来場頂けたらと思います。

続いては、こちらも恒例行事となる「大阪府立支援学校PTA協議会」による親睦ボウリング大会についてご報告致します。

9月10日、日曜に新大阪にあるイーグルボウルにて行われましたボウリング大会に、今年も、囃校からはボウリングが得意とするメンバーの下でチームを作り、大会へ参加してまいりました。
今年の囃校は、序盤から連続ストライクなど好



プレーの嵐となり、選手も応援団も大盛り上がり！！

結果の方も、今年は、なんと！『3位！！』やった～！



実力とチーム力により、見事な成績を収めることとなりました。

当日は、参加者や応援者には、朝早くからお越し頂き、先生方には横断幕などのご準備も賜り、色々と皆様ありがとうございました。

来年は、優勝を目指して、頑張るぞー！



実は、今年、こっそり参加選手の数人で練習会をしたのは内緒です（笑）

さて、2学期に入り、9月15日（金）には、第4回となります学級委員会が行われました。

9月は、防災月間の月でもあり、また、最初の報告にもありました『全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会 平成29年度第36回全国研究協議大会 東京大会』のシンポジウムでも取り上げられました『防災』についてのお話もあったことから、本校で準備していた災害用備蓄米の炊き出し体験と試食会を、学級委員会の中で行いました。



先生方のご協力の下、学級委員さんたちで手順表に従い、箱からお米を取り出して、ビニール袋を広げ、ご飯を入れて、この度は、災害時ではないのでお湯（時間がかかりますがお水でもOK！）を準備して、お湯をご飯の入った袋へ注ぐ・・・20分後には、



箱にお米を入れ



お湯を注ぎ



蒸らして



出来上がり！！

炊き立ての白いご飯が完成！

キットには、一人一人分けて配膳出来る容器やお箸、ふりかけまで整っており、50人前のご飯が用意できるようになっています。

生徒も9月5日に、備蓄用の五目御飯を試食したようです。

なかなか体験する機会もないことだったので、とても良い経験になりました。

ご飯も温かくて、美味しいと評判でした。

このご飯を使用する機会が起こってはいけませんが、皆で体験できる機会が持てたことは、本当に良かったです。

先生方、ご提案から、ご準備、後片付けと、本当にありがとうございました。

さて、9月30日（土）には、本校の体育祭が行われます。

P T Aでは、卒業生・保護者の競技として、今年も、紅白玉入れを行います（雨天順延の場合は中止）

皆様、お誘い合わせの上、沢山の方のご参加をお持ち申し上げます。

また、今年も、受付には「10月14日、15日、21日、22日 ヤンマースタジアム長居」競技場にて、知的障がいのある人たちに、社会参加への第一歩となることを期待し組みまれています『スポーツフェスタ』（本校生徒も選手で出場します）と『九州豪雨・東日本大震災の義援金』とした募金箱を二つ準備し、募金活動を行う予定です。



皆様からの善意、心よりお願い申し上げます。